

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	16	事業名	観光交流推進事業	担当部課	くらし文化部たつせがある課
------	----	-----	----------	------	---------------

基本情報	総合計画	基本方針	2	リニモでにぎわい交流するまち	会計	1	一般会計
		分野別項目	10	にぎわいあふれる新たな観光交流を進める	款	6	商工費
		施策の進め方	1	魅力の創出	項	1	商工費
	まちづくり行程表	フラッグ	F3	「みどり」～ふるさと(生命ある空間)の風景を子どもたちに～	目	2	観光費
		政策分類	11	魅力ある景観を創り出す	大事業	2	観光交流推進事業
その他(関係法令、要綱等)	第2次長久手市観光交流基本計画						
事業開始の背景、経緯等	愛知万博を契機に長久手市(長久手町)観光交流推進会議が発足し、平成28年1月に長久手市観光交流協会として独立した。						

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 長久手市観光交流基本計画の理念にのっとり、観光交流資源の開発や観光交流施設及び行事等の紹介、宣伝を行い、観光交流人口の増加を図り、もって市の活性化に取り組む。					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市民・観光者・来訪者					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) リニモを基軸としたネットワークで観光資源や歴史的・文化的資源を結び、新たな観光交流を推進し、魅力あるまちづくりを目指す。					
	事業を構成する事務事業	① 観光PR事業	拡充	④			
	②		⑤				
	③		⑥				

コスト推移	項目	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	事業費(A)	千円	予算				18,165	18,695
決算						11,957	18,733	
人件費(B)	千円	決算				9,394	5,118	
総コスト(A)+(B)	千円	決算				21,351	23,851	

成果推移	成果指標	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	A 観光者数	千人	目標		2,700	2,750	3,000	2,800
実績				2,727	2,777	3,231	2,423	
B		目標						
		実績						
C		目標						
		実績						
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など) 観光PRを行った結果増加すると思われる観光者数を成果指標とする。平成27年度は都市緑化あいちフェアのため短期的に増加を見込んだ。平成28年度は予定していなかったトヨタ博物館の改修休館があり減少したが、平成29年度は26年度並の数を見込んだ指標とした。								
B								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 尾張旭市観光協会、瀬戸市まるっとミュージアム・観光協会、豊明市観光協会、みよし市観光協会 平成28年1月に長久手市観光交流協会が独立した。
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 補助金を交付している市観光交流協会が、市内外での観光イベントでブースを設置し、観光ガイドブックや市内集客施設のパンフレットなどで市の観光PRや交流などを行ったが、施設の臨時休館による観光客の一時的な減少もあり、目標は達成出来なかった。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 観光資源を活用したPRは行っているが、施設間や団体間の連携はあまり出来ていないため、連携の必要がある。

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 観光施設や商工団体、住民団体などとの連携を強化して、既存の観光資源を最大限に生かしながら、長久手の新たな魅力を創り出す人材の発掘、育成が必要。また、特産品になり得る資源の発掘が必要。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 補助金を有効的に活用しながら、より観光PR等を強化するため、平成29年度中に観光交流協会として法人化を目指す。また、平成29～31年度に県の補助金を活用し、特産品となり得る資源を発掘する。

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

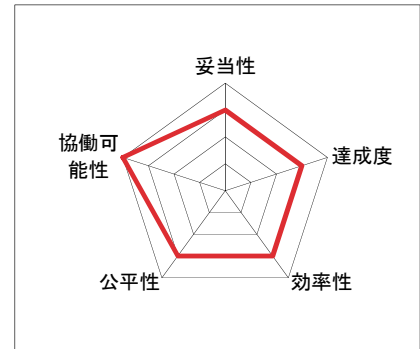
					事業名	観光交流推進事業								
番号	①	事務事業名	観光PR事業		款	6	項	1	目	2	大事業	2	中事業	1
事務事業の期間	事務事業開始年度		平成16年度		終了（予定）年度	—								

1. 事務事業の目的

(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)	
対象・手段	<ul style="list-style-type: none"> 市観光交流協会が、市内外での観光イベントでブースを設置し、観光ガイドブックや市内集客施設のパンフレットなどで市の観光PRや交流などを行うことを目的に補助金を交付する。 市の特産品となり得る資源を発掘するため、県の補助金を活用した地域ブランディング事業を行う。
(対象をどのような状態にしたいか)	
意図	交流を促進し、市の活力と魅力を高める

6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	3
効率性	3
公平性	3
協働可能性	4



2. コスト推移

項目	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
事業費	千円	予算			18,165	18,695	22,031
		決算			11,957	18,733	

【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど)
市と協会で役割を明確にし、協会設立後1年が経過し、協会独自で事業や事務を行っている。

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
補助金交付	千円	目標	14,466	13,200	18,000	18,600	18,771
		実績	14,466	13,200	11,860	18,600	
観光者数	千人	目標	2,700	2,750	3,000	2,800	2,800
		実績	2,727	2,777	3,231	2,423	

【ウイークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど)
事務局主導で事業を行うのではなく、会員主導で計画や実行する事業を増やす必要がある。

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
平成27年度に都市緑化あいちフェアが開催。 平成28年1月に観光交流協会独立。 平成28年12月～29年1月までトヨタ博物館休館。

7. 今後の方向性

拡充

5. 前年度からの改善状況

<参考：前年度の事務事業評価のコメント>
観光PRの面で不足している部分があったため、各団体との連携の強化を軸に、より効果的なPRを行った。
(何をどのような状態に改善したのか)
補助金を交付している市観光交流協会が、市内外での観光イベントでブースを設置し、観光ガイドブックや市内集客施設のパンフレットなどで市の観光PRや交流などを行った。

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
<ul style="list-style-type: none"> 観光施設や商工団体、住民団体などとの連携を強化して、既存の観光資源を最大限に生かしながら、長久手の新たな魅力を創出する人材の発掘、育成を行うため、引き続き協会へ補助金を交付する。 平成29年度の新規事業として、市の特産品開発を目指し、資源発掘のための計画作り等を行う。